

Message メッセージ

務台 俊介

「明治神宮の森を造成した先人の炯眼に学ぶ」 ～故郷に平地の森造成の夢想～

私は、代々木の居所から永田町の国会に通うのに、明治神宮に詣でつづ原宿まで歩き、そこで地下鉄千代田線に乗り国会議事堂で下車する約40分間のドアツードアの通勤スタイルが気に入っている。歩く時間はおよそ25分である。

気に入っている理由は、明治神宮境内が鬱蒼とした森であり、静謐な木立の中をただひたすら歩くことにより、気分が大変爽快になるからである。早朝6時45分から7時15分くらいの間に、神宮境内を歩くことが多いが、顔馴染みの方々とは、「おはようございます」と気持ちの良い挨拶が交せるようになっている。日常生活の中で蓄積しかねない、せわしく鬱々とした気持ちが、朝の20分の「森林浴」で浄化、デットクスされる。頭がすっきりとした状態で、党の早朝の部会などに出席すると良いアイデアが生まれたりもする。

さて、この鬱蒼とした明治神宮であるが、よく知られているように、この神宮の森は、人工的に作られた森である。明治天皇と昭憲皇太后を御祭神とする神宮は、大正9年に鎮座祭が行われたもので、境内地は内苑と外苑に分かれ、内苑には日本各地や朝鮮半島・台湾からの膨大な献木が計画的に植えられた歴史がある。

神宮の森は、人工林が意図的に自然林化されたものとして世界的に注目されているとも聞く。神宮が設営された代々木御料地付近は、元々は森がない荒地であり、神社



明治神宮の朝の静謐

設営のためには人工林を作ることが必要であり、当時、造園に関する一流の学者らが集められた。

当時、現在の生態学でいう植生遷移という概念が構想され、林苑計画に応用されたと伝えられている。植生遷移とは、植物がその土地で育成することに伴い、長い時間の中で環境生成作用によりその場所の環境が変化していく現象であり、当初、多様な樹種を多層に植栽することで、100年後には広葉樹中心の極相林に到達し、手入れや施肥などが皆無で永遠の森が形成されることを予測し実行されたのだ。

私が、毎朝、まるで原始の森の中を歩いているかのような錯覚に陥る幸運は、大正期の先人たちの100年後を見越した先駆的な取り組みの結果なのである。

さて、東京から松本市・安曇野市に戻る都度、いつも何か足りないなあと感じてきたことがあったが、その最大のもの一つに、この地域に広大な平地林が存在しないことではないかと思うようになっていく。この風光明媚な盆地に画龍点睛を欠くものがあるとしたら、それは平地に風格のある広大な森が無いことではないかと。

穂高神社などの神社の境内には、それなりの神社林があるが、鬱蒼とした明治神宮の森とは比べようもない。安曇野には屋敷林という他の地域にはあまり見られない誇るべき景観があるが、それとて今や点在していると言わざるを得ない現状に陥っている。

私の夢は、松本平、安曇野に、100年後の姿を見据えて、「安曇野の森」ともいべき広大な平地林を復活できないかということである。この地域には、国営アルプスあづみの公園という国の施設があるが、これはアルプス山麓の森に手を入れて造成整備したものである。長い時間をかけ平地に森を形成したものではない。

私たちは、このところ目先のことにのみエネルギーを注入し過ぎてきたのではないだろうか。明治神宮の森を毎朝歩くなかで、100年前の先人の将来を見据えた気分を共有できてきたような不思議な思いに浸りつつある。

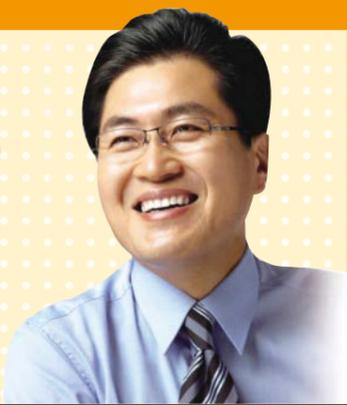
あなたの声をお聞かせください。
政策や日本の将来を語り合しましょう。
ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

【自由民主党長野県第二選挙区支部】
住所:長野県松本市白坂2-3-30 大永第3ビル101
TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519
mail:office@mutai-shunsuke.jp
【国会事務所】衆議院第一議員会館403号室
住所:東京都千代田区永田町2-2-1
TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334



むたい俊介 ニュース

2014年 新春号 / No.12



公式Twitter ▶ @mutaishunsuke ■ ホームページ ▶ www.mutai-shunsuke.jp ■ facebook ▶ https://www.facebook.com/mutai.shunsuke



代議士に当選させていただき、
2度めの正月を迎えています。
水を得た魚のように地域と国を
つなぐ役割を果たすべく、
一生懸命活動しております。

◀ 衆議院災害対策特別委員会で初答弁

むたい俊介プロフィール

衆議院議員、自由民主党長野県第二選挙区 支部長
クライシスマネジメント協議会理事、地域安全学会元理事、日本地方財政学会、日本自治学会会員

昭和31年 (1956年) 安曇野市(旧三郷村)生まれ
大田市・旧豊科町で育つ
昭和50年 松本深志高校卒業
昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省後、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、総務省調整課長、総務省大臣官房参事官、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任

平成19年 この間武蔵大学・信州大学非常勤講師、関西学院大学客員研究員も務める
平成20年 自民党長野県第二選挙区支部長就任
平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦
平成22年 神奈川大学法学部自治行政学教授を兼ねる
平成24年 12月16日の第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて当選

役職等一覧 (平成25年12月現在)

【衆議院 所属委員会】

- 国土交通委員会
- 災害対策特別委員会
- 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会
- 消費者問題に関する特別委員会

【議員連盟役職】

- 超党派「山の日」制定議員連盟 事務局長
- 自由民主党消防議員連盟 地域総合防災力整備促進法制定に関するPT 事務局長
- 合併算定終了後の新たな財政支援措置を実現する議員連盟 事務局長
- 自由民主党介護福祉議員連盟 事務局長
- 自由民主党水道事業促進議員連盟 事務局長

【党役職(自由民主党)】

- 総務部会 副部長
- 災害対策特別委員会 事務局次長
- 火山対策小委員会 事務局長
- 子どもの元気!農山漁村で育むプロジェクト小委員会 事務局長
- 花き振興法案(仮称)の検討作業チーム
- 行政改革推進本部 幹事
- 超電導リニア鉄道に関する特別委員会 幹事
- 国会対策委員
- 新聞出版局 次長
- 雇用問題調査会 幹事
- 情報・通信関係団体委員会 副委員長
- 自民民主党長野県支部連合会 副会長
- 自由民主党長野県第二選挙区支部 支部長

日々の活動をwebで公開しています

公式Twitter @mutaishunsuke
facebook https://www.facebook.com/mutai.shunsuke
ホームページ www.mutai-shunsuke.jp
むたい俊介 検索



▲むたい俊介公式ホームページ

国政での活動報告 務台俊介が中心となって活動をしている事例です。

「山の日」の祝日化に向けて

8月11日の祝日化に向けて動き出しています。事務局長として、合計13回の会合を開催。上高地や九重連山でも合宿を行いました。日本全国で、山について考える日をつくります。



第6回「山の日」議連の様子

消防団基本法を実現

身近な地域の守り手、消防団員の皆様を支えたい。国や自治体が消防団ともしっかり協力し、地域防災を進めようという法律を議員立法で実現しました。法律案を作成し、与野党との折衝に汗をかきながら、衆参とも全会一致で成立させました!



千葉県消防関係者に消防団新法を説明

都市と農村の教育交流の制度化を

子ども達を農山漁村に招いて滞在してもらおうと、子どもと地域が元気になる。そんな新しい教育カリキュラムを全国の小学生に。林農林大臣にもエールを頂き現在法制度化、予算化に向けてフル回転で動いています。



池田小学校からの修学旅行生を迎える



自民党災害対策特別委員会を開催



参議院総務委員会で国土強靱化法案の答弁

写真ギャラリー

地域を巡る中での各地区の皆様との触れ合いの瞬間です。ご協力有難うございました。



松本市高宮地区の運動会でかけっこ



長野市大岡の野沢菜洗いをする親子と



吉田ひろみ参議院議員の当選を祝う



信濃町のバイオマス発電施設を視察



穂高牧大根祭りにて



飯綱町の家族総出の脱穀風情



犀川水系の現地視察



乗鞍岳の現地を視察



松本市長さんたちを梶山国土交通副大臣室にお連れする



安曇節保存会の皆様と



長野市鬼無里の女性部と